

ごあいさつ

皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第105期第2四半期（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の営業の概要と決算の状況につきましてご報告申し上げます。

当中間会計期間におけるわが国経済は、世界的な景気の減速、急激な円高の進行等を背景とした企業収益の悪化や設備投資の停滞、雇用不安による個人消費の縮小等依然として厳しい状況が続いております。当行の営業区域内の景気動向は、輸送用機械や電気機械などで改善が見られるものの、製造業の中でも中小企業は低迷しており、建設など非製造業も経営環境は厳しく先行き不透明な状況となっております。

こうしたなか、当行の第105期第2四半期決算は、「雨でも傘をさし続ける銀行」を目指して、中小企業への円滑な資金供給や経営改善支援などの相談業務に役職員が一丸となって努力した結果、預貸金とも回復に転じるとともに、経常利益12億円、中間純利益39億円と大幅な増益となりました。

当行は、地域から頼られる銀行を目指し、収益改善再生プラン「プランフェニックス」に全力で取り組んでまいりましたが、現下の厳しい金融経済環境が与える地域経済やお取引先への影響等を鑑み、地域の中小企業の皆様への安定的かつ円滑な資金供給や経営改善支援を一層強化するために、資本増強を図ることといたしました。

当行は、金融機能の強化のための特別措置に関する法律第3条第1項に基づき、国に対して総額350億円の株式の引受けに係る申込みを行い、12月9日付けで同法第5条第1項の規定に基づく株式の引受決定通知を受領いたしました。この決定に基づき、優先株式を発行し、平成21年12月28日に350億円の資本増強を完了いたしました。今回の資本増強により、中小企業金融の一層の円滑化や地域経済の活性化という役割を果たすための安定的な財務基盤の構築を実現することができたと考えております。

当行は、金融機能強化法に基づき、平成21年10月から平成24年3月までの2年半を計画期間とする経営強化計画を実施いたします。

経営強化計画は、名称を「プランフェニックスⅡ」とし、2年半の計画期間中に、中小規模事業

者等向け貸出残高を309億円増加させ、地域の中
小企業へ貢献し、地域金融機関としての役割を果
すとともに、計画始期の56億円のコア業務純益を、
計画終期には、ほぼ2倍の101億円とする収益目
標を立てております。

これらを実現するための手段としては、靴底を減らしてのお客様訪問を役職員が徹底することによる中小企業貸出の増加であります。それによって、「雨でも傘をさし続ける銀行」として、地域から頼られる銀行になることが、私たちのめざすものです。

当行の靴底を減らす活動によりお客様訪問を徹底するという行動の基本は、今回の経営強化計画でも変わりません。しかし、今までにない、いくつかの工夫を加えることで、お客様と接触する時間を増加させ、また、その接触の密度を質的に高めることで「靴底を減らした訪問」の実効性を高めてまいります。

当行は、「プランフェニックスⅡ」を確実に実行することで、私たちの銀行のモットーになっている「靴底を減らす活動」に工夫を施し、中小企業貸出の増加により、「雨でも傘をさし続ける銀行」として地域に対する私共の使命を果たしてまいりますので、変わらぬご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



平成22年1月

株式会社 東和銀行
取締役頭取

吉永國光